



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 森下仁丹株式会社 上場取引所 東
コード番号 4524 URL <https://www.jintan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 雄司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 吉田 秀章 TEL 06-6761-1131
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,295	16.3	621	94.0	645	88.0	473	81.6
2023年3月期第2四半期	5,413	15.1	320	123.8	343	120.4	260	126.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,320百万円 (153.6%) 2023年3月期第2四半期 520百万円 (140.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	116.02	—
2023年3月期第2四半期	63.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,607	12,557	71.3
2023年3月期	16,103	11,392	70.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 12,557百万円 2023年3月期 11,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	5.6	950	66.9	1,000	60.3	800	62.6	195.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	4,150,000株	2023年3月期	4,150,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	64,122株	2023年3月期	67,762株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	4,083,448株	2023年3月期2Q	4,079,996株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済の景気は、国内需要を中心に緩やかに回復しております。個人消費は新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、外食・宿泊・娯楽など対面型サービスを中心に回復しておりますが、物価高の影響で一部に弱い動きが見られます。

消費者物価(生鮮食品を除く総合、コアCPI)について、2023年2月以降は政府の負担緩和策によって電気・都市ガス代の上昇率が大きく低下したことから、同3%台前半で推移しており、財価格に比べ上昇が遅れていたサービス価格は、2023年8月には前年比2.0%まで伸びを高めております。

こうした経済状況をうけ、当社グループのヘルスケア事業は、第1四半期に引き続き、ナショナルブランド品の「ビフィーナ®」や「目もとパックシート」「口もとパックシート」といった、かねてよりインバウンド需要が高い製品の売り上げが復調傾向にあります。特に「ビフィーナ®」については、整腸効果をもつビフィズス菌を配合した機能表示食品分野において、26年連続売上No.1を獲得し、今年発売から30周年の節目を迎えました。2023年9月にはタイ・バンコクで開催されたアジア最大級の栄養補助食品イベント「Vitafoods Asia」に出展するなど、国内はもちろん、アジアを中心とした国や地域で積極的なプロモーションを展開しております。引き続き、一人ひとりの「健やかさ」「豊かさ」に寄り添う製品をパーパス基点でお届けできるよう、ステークホルダーとのリレーションを深めてまいります。

機能性素材販売は堅調に推移しており、今後も新規案件の獲得を進めてまいります。またジェネリック医薬品の製造販売についても、堅調に推移しており、引き続き、患者様とご家族のQOL向上につながるよう、安定供給に努めてまいります。

カプセル受託事業は、可食分野においてフレーバーカプセルの販売が、産業用(非可食)分野においては化粧品シームレスカプセルが引き続き堅調に推移しております。また、2022年に発表した腸内の特定部位で崩壊するカプセル技術(大腸送達性製剤)の研究・開発を継続しており、製品化を目指しています。今後も、高付加価値シームレスカプセルの開発・製造、オープンイノベーションによるパートナーとの共創を推進してまいります。また、そこで得られた知見を新たなシームレスカプセル技術開発に応用するサイクルを構築して、社会へシームレスカプセル技術を通じたソリューションの提供を続けてまいります。

また、2023年12月にはワダカルシウム製薬株式会社の製造部門を会社分割により当社の100%子会社「株式会社MJ滋賀」として取得し、当社グループに加わる予定です。同社の食品、医薬品製造にかかる錠剤の製剤技術、及び製造、品質管理のノウハウを当社の持続的な成長及び企業価値最大化へつなげるべく、今後も事業を展開してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,295百万円(前年同四半期比16.3%増)、営業利益621百万円(前年同四半期比94.0%増)、経常利益645百万円(前年同四半期比88.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益473百万円(前年同四半期比81.6%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては前述のとおり、「ビフィーナ®」をはじめとしたインバウンド需要と親和性の高い製品が復調にあり、また現地代理店との連携によりアジア地域での売り上げも堅調に推移しております。

当セグメントにおきましては、売上高は、4,214百万円(前年同四半期比3.9%増)、セグメント損失は、一時的な在庫評価減による影響で50百万円(前年同四半期はセグメント利益67百万円)となりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、フレーバーカプセルの製造受託による売上が前年同四半期と比べ増収となりました。今後もパートナー企業やアカデミアとの共同研究により、シームレスカプセルを用いた社会課題解決への取り組みを展開してまいります。

当セグメントにおきましては、売上高は、2,076百万円(前年同四半期比53.1%増)、セグメント利益は、668百万円(前年同四半期比166.2%増)となりました。

③ その他

当セグメントにおきましては、売上高は、4百万円(前年同四半期比97.6%増)、セグメント利益は、4百万円(前年同四半期比97.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は7,384百万円となり、前連結会計年度末に比べ238百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が418百万円増加したことによるものであります。固定資産は10,223百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,265百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券の時価評価により投資有価証券が1,222百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、17,607百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,504百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,882百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が62百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,167百万円となり、前連結会計年度末に比べ274百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が352百万円増加しましたが、約定返済により長期借入金79百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、5,050百万円となり、前連結会計年度末に比べ339百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は12,557百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,164百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が847百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.3%（前連結会計年度末は70.7%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,662百万円と前連結会計年度末と比べ746百万円（31.0%）の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は163百万円（前年同四半期は547百万円の増加）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益645百万円、売上債権の増加額418百万円、棚卸資産の増加額471百万円などによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は294百万円（前年同四半期は160百万円の減少）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出266百万円、無形固定資産の取得による支出25百万円などによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は288百万円（前年同四半期は302百万円の減少）となりました。その主な要因は、配当金の支払額163百万円、長期借入金の返済による支出125百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年9月14日の「通期業績予想の修正並びに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,409	1,662
受取手形及び売掛金	2,355	2,773
商品及び製品	764	800
仕掛品	735	1,056
原材料及び貯蔵品	740	854
その他	152	248
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	7,145	7,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,301	1,239
機械装置及び運搬具（純額）	908	972
土地	1,891	1,891
その他（純額）	360	435
有形固定資産合計	4,461	4,538
無形固定資産	353	320
投資その他の資産		
投資有価証券	4,077	5,300
その他	65	63
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,142	5,363
固定資産合計	8,957	10,223
資産合計	16,103	17,607

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,375	1,380
1年内返済予定の長期借入金	227	181
未払費用	473	446
未払法人税等	166	220
賞与引当金	207	270
その他	368	383
流動負債合計	2,818	2,882
固定負債		
長期借入金	242	163
繰延税金負債	971	1,324
退職給付に係る負債	658	659
その他	20	20
固定負債合計	1,892	2,167
負債合計	4,711	5,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	968	969
利益剰余金	5,172	5,483
自己株式	△114	△108
株主資本合計	9,563	9,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,826	2,673
退職給付に係る調整累計額	1	1
その他の包括利益累計額合計	1,828	2,675
純資産合計	11,392	12,557
負債純資産合計	16,103	17,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,413	6,295
売上原価	2,841	3,190
売上総利益	2,572	3,104
販売費及び一般管理費	2,251	2,482
営業利益	320	621
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	17	23
その他	6	1
営業外収益合計	24	25
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	343	645
税金等調整前四半期純利益	343	645
法人税、住民税及び事業税	72	190
法人税等調整額	10	△18
法人税等合計	82	171
四半期純利益	260	473
親会社株主に帰属する四半期純利益	260	473

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	260	473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	259	847
退職給付に係る調整額	0	△0
その他の包括利益合計	259	847
四半期包括利益	520	1,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	520	1,320

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	343	645
減価償却費	309	288
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4	62
受取利息及び受取配当金	△17	△23
支払利息	1	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△131	△418
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△123	△471
仕入債務の増減額 (△は減少)	120	4
その他	82	△141
小計	576	△50
利息及び配当金の受取額	22	25
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△49	△137
営業活動によるキャッシュ・フロー	547	△163
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△146	△266
無形固定資産の取得による支出	△7	△25
投資有価証券の取得による支出	△7	△3
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160	△294
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△150	△125
配当金の支払額	△152	△163
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△302	△288
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	84	△746
現金及び現金同等物の期首残高	2,138	2,409
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,223	1,662

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,055	1,355	5,411	2	5,413	—	5,413
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,055	1,355	5,411	2	5,413	—	5,413
セグメント利益	67	251	318	2	320	—	320

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,214	2,076	6,290	4	6,295	—	6,295
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,214	2,076	6,290	4	6,295	—	6,295
セグメント利益 又は損失(△)	△50	668	617	4	621	—	621

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。